

No.	002	—	2001	事務事業名	交通安全対策事業			細事務事業名				公的関与	4
PLAN	課名	危機管理課	係名	防災安全係	電話番号	089-964-4483		メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	6 防犯・消費生活・交通安全対策の充実		主要施策	(4) 交通安全対策の総合的推進				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	交通安全に対し多岐にわたり啓発を行い、市民が安心して生活できる環境を作れるよう対策を図っていきます。				今年度	交通弱者である子供や高齢者に対し、交通安全思想の普及啓発を図ります。					
	活動内容	①	東温市交通安全指導員会による該当啓発活動及び交通安全教室、自転車教室での交通安全指導				④						
		②	松山南交通安全協会による該当啓発活動及び交通安全講習会の実施				⑤						
		③	高速道路交通安全協議会による交通安全啓発活動										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標		
		街頭啓発	春・秋・年末の交通安全週間等での交通安全啓発活動			目標	30	30	30	30			
			実績	28	28								
交通安全県民大会		交通安全県民大会への参加者数			目標	50	50	50					
					実績	25	実施せず						
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費			
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	4,547 千円		4,983 千円		4,961 千円						
	計(A)	4,547 千円		4,983 千円		4,961 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.770 人	4,629 千円	0.770 人	4,721 千円	0.770 人	4,806 千円					
		臨時職員工数・経費	0.050 人	99 千円	0.050 人	99 千円	0.050 人	99 千円					
	全体事業費(A+B)	9,275 千円		9,803 千円		9,866 千円							
一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	交通安全対策は行政の責務であり、県下関係機関と連携した事業を展開する必要があります。												
有効性	公共にしかできない事業であり、事業内容も適切です。												
達成度	継続的に交通安全啓発活動を行っており、引き続き実施していきます。												
効率性	適切なコストで実施しています。												
当面の課題	交通事故そのものは減少傾向にありますが、引き続き交通安全啓発活動を行い、更なる交通事故減少に努めます。												
改訂計画	「東温市交通安全計画」に基づき、関係機関・団体等と連携して交通事故のない東温を目指します。												
二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内公立の保育所、幼稚園、小中学校、高等学校、支援学校において関係機関・団体と連携して実施している交通安全教室、自転車教室等の交通安全啓発活動を継続してください。												

No.	002	—	2009	事務事業名	高齢者交通安全指導事業	細事務事業名		公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	-------------	--------	--	------	---

PLAN	課名	危機管理課	係名	防災安全係	電話番号	089-964-4483	メールアドレス	kikikanri@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	平成 20 年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	6 防犯・消費生活・交通安全対策の充実		主要施策	(4) 交通安全対策の総合的推進					
	事業の対象	市内に住所を有する75歳以上の者				根拠法令								
	事業の目的	最終的	高齢者の交通死亡事故の減少への取り組みとして、専門の指導員が高齢者世帯を訪問し、交通事故防止の助言及び啓発グッズ等の配布を行い、本市から高齢者の交通死亡事故をなくします。併せて、防災・防犯対策の意識啓発活動も行います。			今年度	引き続き、高齢者を訪問し全対象世帯への啓発を目指します。							
	活動内容	①	交通安全アンケートの実施			④	交通危険箇所等の情報収集							
		②	交通安全に関する資料の配布と説明			⑤	防犯対策及び防災・減災に関する指導、避難場所等の確認							
		③	反射材等の配布、交通相談											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		訪問面談実施率		全対象者への啓発指導を目指します。 (訪問世帯数/対象世帯数)		目標	100	100	100	100				
				実績	73	82								
				目標										
				実績										
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務			費				
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		65 千円	448 千円	95 千円								
	計(A)		65 千円	448 千円	95 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.040 人	240 千円	0.040 人	245 千円	0.040 人	250 千円						
		臨時職員工数・経費	1.477 人	2,916 千円	1.477 人	2,932 千円	1.477 人	2,935 千円						
	全体事業費(A+B)		3,221 千円		3,625 千円		3,279 千円							
CHECK-ACTION	一次評価者	防災安全係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	高齢者の交通事故が多発しています。交通安全指導はもちろん、防災・防犯対策についても指導していく必要があります。												
	有効性	交通安全だけでなく、防犯、防災さらには、市政全般にかかる相談も受けるなど、事業の継続は有効であると考えます。												
	達成度	複数回訪問しても留守で面会できない家もありますが概ね目標を達成していると考えます。												
	効率性	交通安全・防災・防犯等、より総合的な高齢者指導を実施します。												
	当面の課題	今後75歳以上の人口の増加による訪問件数の増加が認められるため、訪問体制の検討を行う必要があります。												
	改訂計画	訪問によるアンケート結果や交通事故等の発生状況を踏まえ、今後の訪問指導内容を充実させます。												
	二次評価者	危機管理課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	市内75歳以上の高齢者世帯を訪問して、交通安全指導、防災知識の普及啓発等を行なっているセーフティアドバイザーの活動について、今後も継続して実施してください。												